

イチゴの作り方

イチゴはビタミンCを豊富に含み、約7個イチゴを食べることにより、大人が1日に必要なビタミンCを摂取することができるほどです。

■品種

品種	特徴
女峰	程よい酸味があり、ケーキの飾りによいです。
宝幸早生	果肉がやわらかく、甘くおいしいイチゴ。早生品種。
豊の香	果肉が大きくやわらかく、甘くておいしいイチゴ。

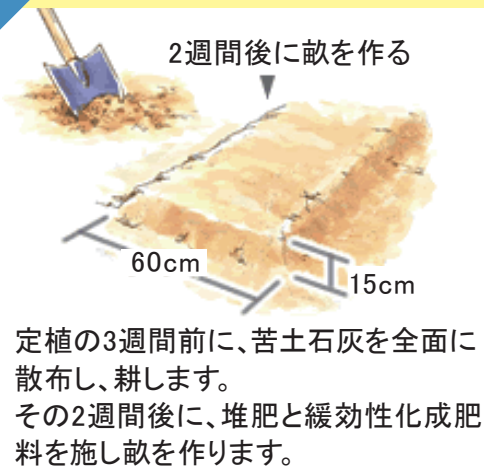
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
標準地			追肥	収穫			子株取り			定植	追肥	
寒冷地			追肥		収穫		子株取り		定植		追肥	
暖地		追肥		収穫			子株取り			定植		追肥

■栽培条件

冷涼な気候を好み、17℃～20℃が生育適温であり、夏の暑さに弱いです。浅根性のため乾燥にも弱いです。そして、日当たりや排水性がよく、適度の水分と有機質を含んだ肥沃な土壌を好みます。

庭や畑で作る①

1 土作り

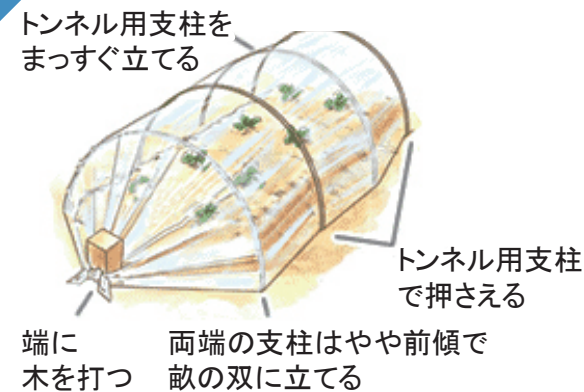


2 苗の植え付け・追肥



株間30cm間隔に、ランナー（根茎）を通路の反対側に向け、クラウンの部分が地上に出る程度のやや浅めに植えつけます。植えつけ後、たっぷり水を与えます。株の生育状態を見ながら、マルチングを行うまでに1～2回追肥をします。1回目は、根が活着した11月頃、2回目は冬越しをした2月中旬頃が追肥適期です。

3 防寒



イチゴは寒さに強いですが、凍るような寒さが続いたり、-5℃以下では凍害を起こしやすく、積雪の無い地域では不織布や寒冷紗を使い、防寒を行うとよいでしょう。

Howtoなでこ

動画でもっとわかりやすく！暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

